

献血普及活動報告

校内の献血協力者数を増やすためには？

校内の献血協力者数を増やすためには？

<テーマ設定理由>

2022年7月8日に安倍元首相が襲撃された。その際、安倍元首相が搬送された奈良医科大学病院の会見で「**100単位(20L)の輸血を行った**」という情報を得た。私は以前に新型コロナウイルスの流行によって献血者が減少しているという話を聞いたことを思い出し、**少ない献血量でも輸血は必要な人に十分行き届いているのか**という疑問が生まれたから。

<予備調査>

日本赤十字センターHPやアンケートをして調査する。

<実現したいこと>

献血が活発になり輸血の必要なすべての人を救える未来。



献血ってなに？

— 献血とは？ —

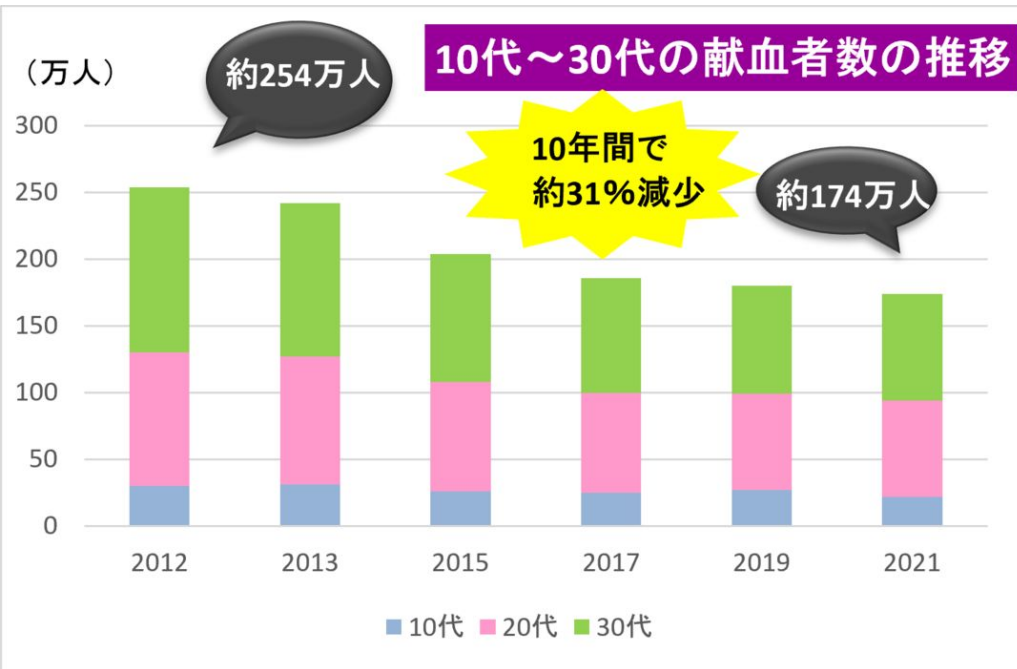
・ 輸血を必要としている人を救うために健康な人が自らの血液を無償で提供するボランティアのこと。

・ 血液は製造や長期保存ができない。

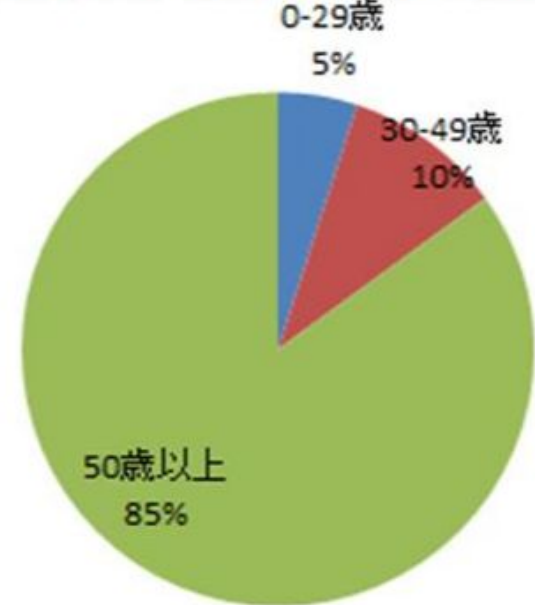
・ 献血に参加するには条件がある。

例) 年齢や体重、健康状態など

項目	献血の種類	
	200mL全血献血	400mL全血献血
1回採血量	200mL	400mL
年齢	16~69歳 注1	男性17歳~69歳 注1 女性18歳~69歳 注1
体重	男性45kg以上 女性40kg以上	男女とも 50kg以上
最高血圧	90mmHg以上179mmHg以下	
最低血圧	50mmHg以上109mmHg以下	
脈拍	40回/分以上100回/分以下	
体温	37.4℃以下	
血色素量 (ヘモグロビン濃度)	男性12.5g/dL以上 女性12.0g/dL以上	男性13.0g/dL以上 女性12.5g/dL以上
1年に 献血できる回数 (1年は52週として換算) 注2	男性6回以内 女性4回以内	男性3回以内 女性2回以内




輸血を受ける人の年代別割合



実際に行った取り組み

校内の献血協力者数を増やすために

 クラスのコメント 1件



木暮七海（高北生徒） 2022/11/16



明日の朝、献血関連の資料を配布する際に下記の呼びかけをお願いします。

現在献血協力者数は減少傾向にあり、特に10代から30代の献血者数は、この10年で約35%も減少しています。協力者数が減少していても、1人あたりの献血量の増加などにより、現在はなんとか必要な血液量を確保することができている状態です。

しかし、このまま献血可能人口が減少し続け、若い世代からの協力が得られないと、将来必要な血液量を確保できなくなるおそれがあります。

将来の献血基盤を支えていくためには、私たち高校生の協力が不可欠です。ご協力をお願いします。



上田楓華（高北生徒）

2022/11/11



・JRC部よりお知らせです。

12月7日（水）に献血があります。そこで献血についての動画を作成しました。

献血は200mLならば、男女ともに16歳からできるのですが、
北高校では、2・3年生を対象としているため、**今回は16歳になっていても1年生は参加することが出来ません。**
献血についてのもっと知りたいや不安なことがあったら、
日本赤十字社のホームページを見たり、保健室の先生に相談してみてください。
また、動画の不具合がありましたら、この投稿にコメントをください。

献血の申込書の提出は**11月18日**までです。
定員が130名なので、先着順になるのでご注意ください。
皆様のご協力よろしく申し上げます。

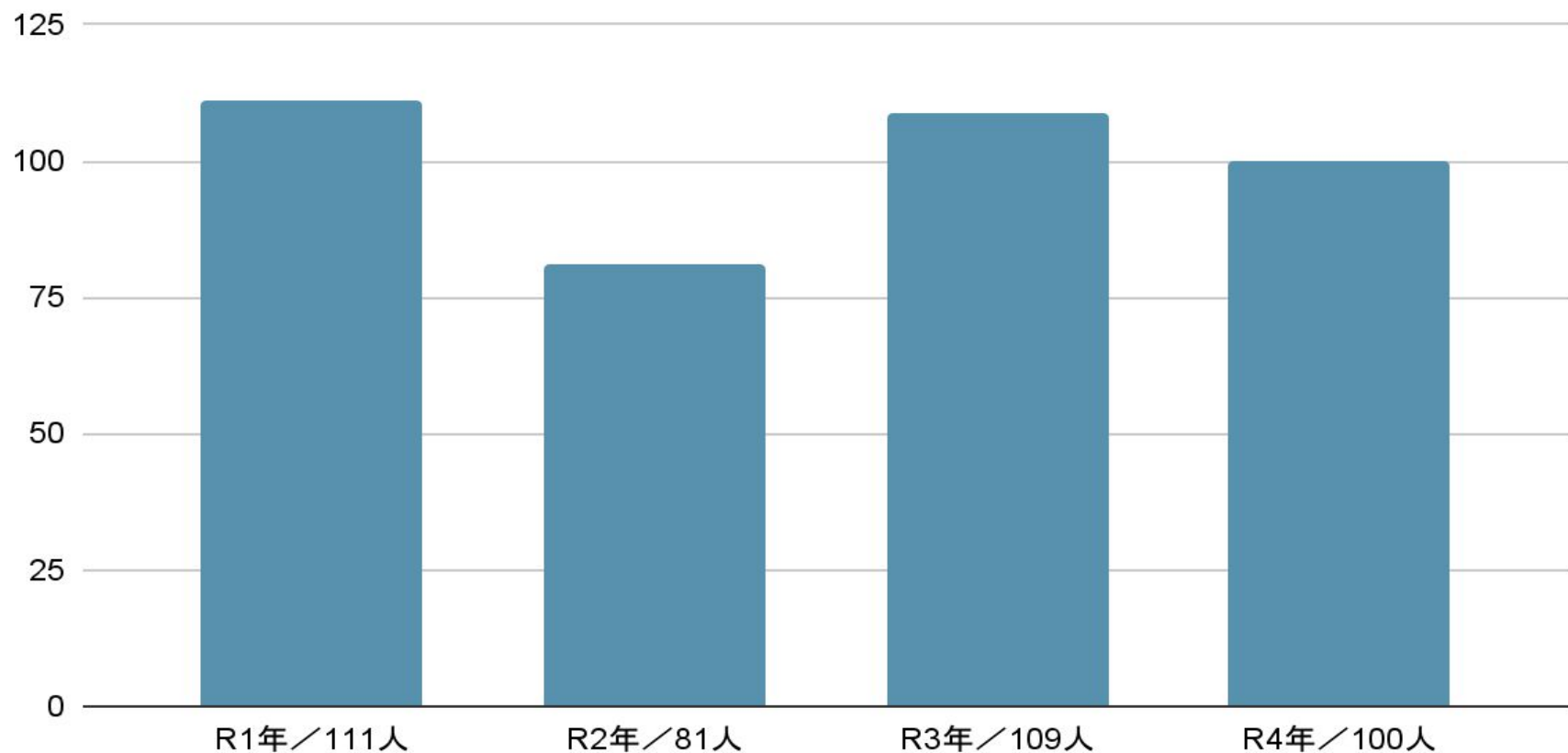
献血について

献血スライド
動画

献血について

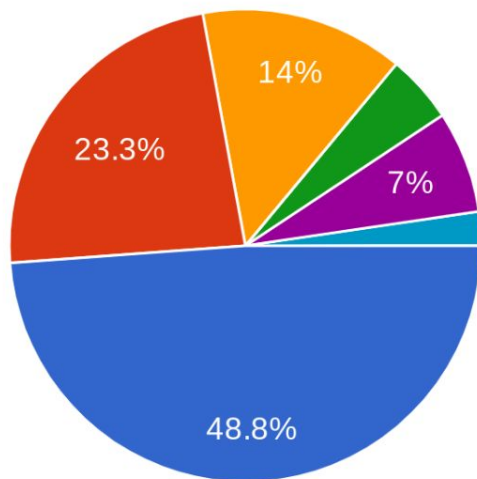
本年度献血協力者数

献血協力者数



実際に献血に参加できましたか。

43 件の回答



- 参加できた
- 貧血で不参加
- コロナウイルス陽性・濃厚接触者・後遺症・学級閉鎖で不参加
- ワクチン関連で不参加
- 上記以外の理由で当日欠席
- 血管が細くて不参加

なぜ協力者数を増やせなかった？

<仮説>

みんなの思う献血に対する「なぜ」を解決できなかった。

コロナウイルスの影響で思うように計画していた取り組みができなかった。



<新たな取り組み>

献血参加対象年齢の2年生に献血活動の感想についてアンケートを行う

○**検証**・結果をもとに、今からできる対応策を考察する。

献血について

学校保健委員会の資料づくりのため、ご協力をお願いします。



takakita-2021076@edu-g.gsn.ed.jp (共有なし)

[アカウントを切り替える](#)



再送信して保存

*必須

4桁番号 *

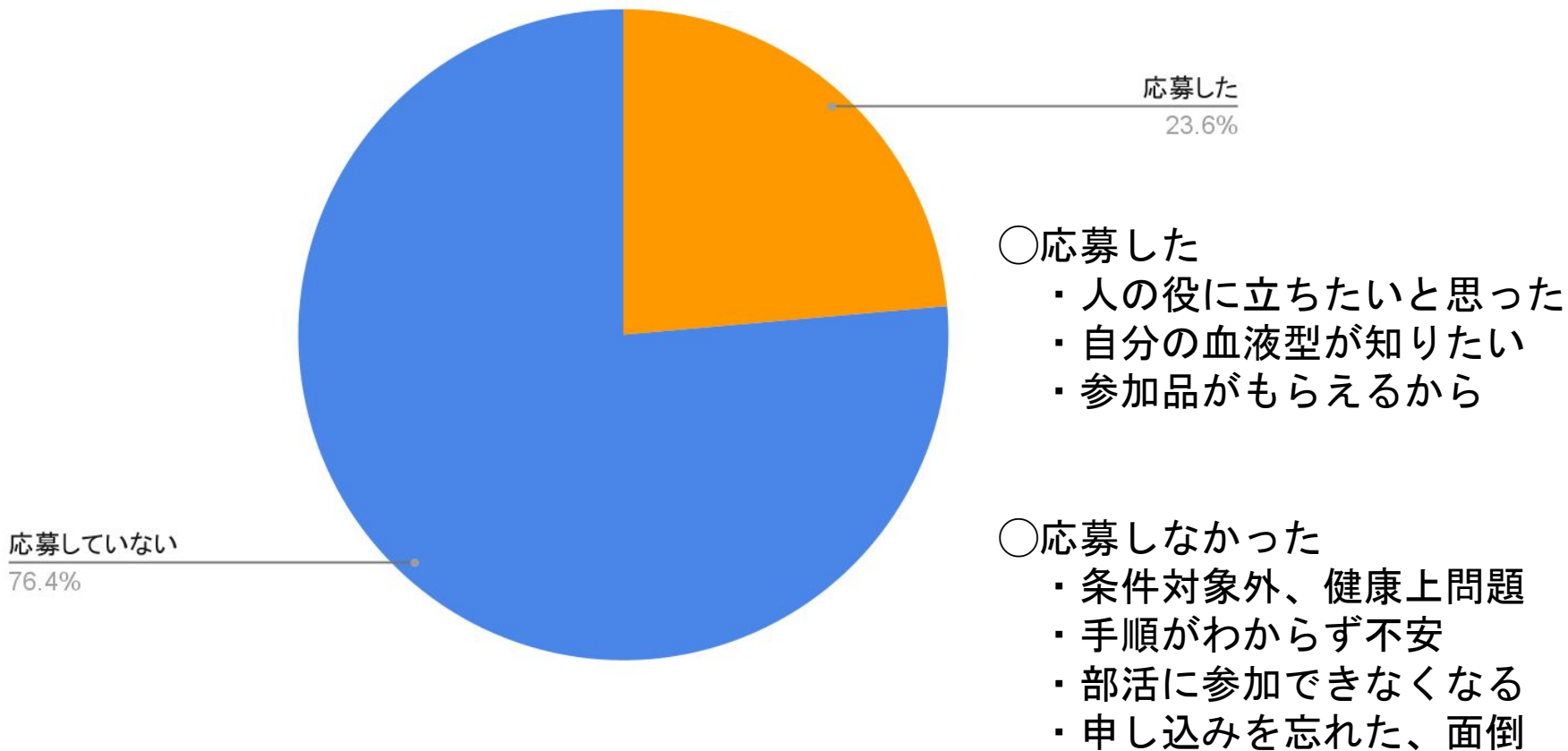
2406

献血ボランティアに応募しましたか。 *

応募していない

応募した

献血ボランティアに応募しましたか



高北で献血協力者数を増やすために

- ・ 献血についての情報周知を徹底する。

- 献血そのものや手順など

- ・ 申込み期間の献血普及活動をより盛んに行う。

- 校内放送やHRでの呼びかけ

- ・ 部活や体調面の配慮についての再検討。

- 参加者の健康状態を考慮した練習メニューを共有しておく。



ご清聴ありがとうございました。